

西区

青指だより

発行 西区青少年指導員協議会



第36号
令和2年7月発行
承認西区 第4号

西区中央一丁目5番10号 西区役所地域振興課
電話 320-8391 FAX 322-5063

●会長あいさつ



「みんなで頑張ります！」

西区青少年指導員協議会 会長 高田 初夫

厳しい社会環境の中、新しいメンバーも加わり、新たに第27期の活動がスタートすることとなりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染防止対策の発表を受けて、計画していた各種事業(行事)は、開催中止や見直しをすることになりました。

今後については、状況を見極めながら、できないことを嘆くのではなく、できるものを見つけ、みんなで一緒に考え、開催していくことが大事だと考えています。

また、地域にあっては、多くの青少年・子ども達が、慣れない生活環境を過ごすことになり、とまどい、不安を抱えながらの日常生活だと思います。こんな時こそ地域のイベント活動等で、学校とはちょっと違った場で触れ合っている、顔見知りの青少年指導員の持てる力を発揮し、いろいろな機会を通しての心強い励ましで、青少年・子ども達が、地域で安心して暮らし、地域の担い手に育っていくことが出来る様に、みんなで、これからも活動を進めて参ります。

地域の皆様、各団体、学校、PTAの皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

●第27期 区協議会役員メンバー紹介

第2地区会長

新型コロナウイルスに負けないで頑張るぞ！！



第六地区会長

みんなで地域を担う子ども達と共に学び合い、
一緒に力を合わせて地域を盛り上げていきます。



第一地区会長

この困難な時を、
山木、山下両副会
長と力を合わせて
頑張っていきます。

第3地区会長

勇気ある一言や小
さな気づかいを積
み重ね、明るい社
会を作り出そう。

第4地区会長

コロナ禍で始まっ
た波乱の27期です
が、新メンバー2
名を加えて頑張っ
ていきます。

第五地区会長

子ども達の目に立
ち、子ども達のこ
とを考えて青少年
指導員一同で温か
く見守って行きた
いと思いますので
よろしくお願ひ致
します。

令和元年度 研修会～教育関係者の講義+レクリエーション講座～

第六地区西区青少年指導員協議会 滝谷 正道

（10月27日（日）9時より区役所3階会議室で、47人が参加し行われました。）

初めての試みとして、現西区青少年指導員の中から課題にあった講師をお願いすることとしました。

さらに2部構成にして前半を講演会形式、後半を実技形式のレク講習としました。

教育関係者の講義「今、学校で起きていること～どの学校でも起これえること～」

講師 横浜市教育文化研究所 主任研究員 滝谷 正道

4月まで現職の教師であり、小中学校ともに勤務経験し生徒指導専任であったことから講師依頼を受けさせていただきました。今回は「いじめ」についてお話ししたいと思います。まず「いじめ」は、絶対にダメです。当該児童生徒が「いじめられている。」と感じていたら、それは「いじめ」になります。クラスメートや友達に悪口を言う自由や権利はありません。発見と同時にきびしい対処、指導が必要です。ただし、なぜそうなったのかという背景を考えなければなりません。

「いじめ」は、すべてが指示通りでないと納得してくれない教師のクラスに多く見られます。否定する言葉ばかりが目立ち、失敗すればみんなで口撃する。こんな日々が続くと、教室は汚くなり、授業中はおしゃべり、立ち歩き、もう制御が効きません。「いじめ」がはじまります。一方で、「いじめ」が起こりづらいのは、学校に常にある「目標」に対して、子どもたちがいろいろな場面で話し合って決めていけるクラスです。子どもたちは、個性がありいろいろな考え方や意見を持っています。教師はそれを否定してはいけません。都度適切なアドバイスをし、時間がかかるても我慢することが必要です。子どもたちにとっては「自分たちで決めたことです。だからそれを守り、みんなで頑張ろうとします。中には失敗することもあります。でも「大丈夫、大丈夫」「みんなでやろうよ。」やさしさが芽生え寛容になります。「個性は、みんな違っていい。」が当たり前になり「学校って楽しいね。」といえるようになるものです。

こういった学校の現状を踏まえて、青少年指導員としてできることは何でしょうか。地域の子どもたちや保護者の方々の悩みを聴いてあげることも、今後の活動に必要になるでしょう。教育相談だけでなく、幅広い相談活動が「いじめ」をなくすアイテムになるかもしれません。

レクリエーション講座

講師 (公財)よこはまユース キッズ運営課 吉田 智之

すぐに使えるレクゲームの進行方法を学びながら、みんなが「子ども時代」に戻ったような笑顔で楽しみました。

- ・「これは」クイズ
- ・肩たたき
- ・参りました！
- ・ウェスタンじゃんけん
- ・餃子じゃんけん
- ・仲間さがし
- ・ハイ・イハ・ドン
- ・じゃんけん列車
- ・フープリレー

- 別名「口頭関数」。ジェスチャーに惑わされず、よく聞きましょう。
- 声を出して数えながら肩たたき。さらに拍手も混ぜて、リズムよく♪
- 親と子のジェスチャーでするじゃんけん。違うポーズは子の勝ち。同じなら親の勝ち。
- 2人の1~5本の出した指の合計を先に言った方の勝ち。
- 3人で行う。全員違っていれば餃子完成。別の人とやってみよう。
- 親のお題を聞いて、子は自分と同じ答えの人を探しましょう。
- 手を重ねて、最後は「ドン！」でしっぺになります。パッと逃げましょう。
- 負けた人は、後ろにつきましょう。最後は、長い列になりました。
- みんなで輪を作りましょう。手をつないだままフラフープをくぐります。

各地区的行事に集まってくる子どもたちは、かなりの年齢幅があります。その子どもたちをまとめ、集中させるのは、とても難しいことです。叱ってやらせればよいものではありません。そんなときレクゲームができれば、みんなが笑顔で、こちらを見てくれるでしょう。

☆青少年指導員 紹介☆

2020年1月18日 インタビュー

このコーナーは、ボランティアや特技を生かして社会貢献活動をしている青少年指導員の紹介欄です。今回ご紹介するのは、口笛奏者として活躍する第六地区浅間台自治会の小國徹さんです。キャッチフレーズは、「港・横浜には、口笛が似合う！」

Q. 口笛を始めたきっかけは、何ですか。

A. 宮城県で育ったのですが、50年も前は自然しかないようなところでした。遊び道具など無くてもできることといえば口笛くらいでした。小学校のときから、山へ行つては周りに気を使うことなく思いっきり吹いていました。

Q. 口笛が、上手なことにいつ気が付いたのですか。

A. 中学生になって、友だちの口笛とは少し違うなと感じ始めました。そんなころ地元のラジオ局の番組に出演させていただきました。評判も良く人気もあったんです。



Q. 80年代から、演奏活動をかなりされているのですが、特に印象に残っているものがありますか。

A. 横浜に来てからは、ラジオ日本の「ミッキー安川のズバリ勝負」に出演していました。ファンの集いにも参加して口笛を披露しました。一緒に出演していた中には作家の志茂田景樹さんや野村沙知代さんもいて楽しかったですよ。2002年の日韓ワールドカップの決勝戦フランスvsドイツの試合では、選手入場を放送席からライブで口笛演奏をしました。昨年は、演奏会を60回行いました。今日も保土ヶ谷区の町内会に呼ばれて演奏してきました。

Q. 演奏では、キーボードの方とユニットを組んでいるとお聞きしたのですが

A. それは、プロの音楽家の佐上智美（さがみともみ）さんです。ユニット名は「横浜サウンドストリーム」といいます。2011年4月に結成しました。東日本大震災があったときです。私の故郷の宮城の被害も想像を絶するものでした。被害にあった方々に私ができることは、やはり口笛を演奏することでした。志を同じくした佐上さんとともに街頭募金をして、少しでも故郷の復興ために役立てほしいという想いでした。



Q. これからの目標は何ですか。

A. 声が掛かれば、どこへでも出かけていきます。曲もクラシックから歌謡曲、なんでもOKです。スズムシやウグイスのモノマネを曲に入れたりして「楽しい口笛」を目指しています。「澄んだ口笛と楽しいピアノの音色」でみなさんに、笑顔と元気を届けられるように心をこめて演奏しています。口笛は、だれでもできます。口笛をきっかけとして友だちがどんどん増えていきます。口笛は心を豊かにし、人生も豊かにします。そのことを聞いてくださる方々に伝えていきたいです。

《小國徹(おぐにとおる)さんプロフィール》

1959年、宮城県に生まれる。横浜市職員として動物園の飼育係、教育委員会事務局、各区役所、児童相談所などを歴任。働きながら神奈川大学を卒業し、専修大学大学院修士課程を修了。2020年4月より、金沢動物園の園長に就任。スポーツも万能で陸上競技、野球、社会人になってからは柔道で有段者となる。

性格は、本人曰く「スットコ、ドッコイで陽気」。口癖が「大丈夫！大丈夫！」

第27期協議会役員

| | | | |
|-----|---------------------------|----|-------------|
| 会長 | 高田 初夫(第六地区) | 会員 | 和田 勉(第3地区) |
| 副会長 | 藤江 一夫(第2地区) | 会員 | 清水 稔二(第3地区) |
| 副会長 | 米田 和代(第五地区) | 会員 | 佐藤 進 |
| 会計 | 濱谷 君雄(第3地区) (境之谷西部町内会) | 会員 | |
| 監事 | 尾野 吉春(第4地区) | 会員 | 内藤 丈喜(第4地区) |
| 会員 | 門馬 一美(第一地区) | 会員 | 久保寺克宗(第五地区) |
| 会員 | 山下 尚徳(第一地区) | 会員 | 石井久美子(第五地区) |
| 会員 | 山木八十治(第一地区) | 会員 | ニツ橋房義(第六地区) |
| 会員 | 海老塚 誠(第2地区) | 会員 | 濱谷 正道(第六地区) |

研修部員
濱谷 君雄(部長)／岡田 公平／野田真理子／
井理 忠夫／関根 信雄／五十嶺 進／
西宮 節子／大石 優／桐生 敏夫／
原 弘泰／関 憲一／内田 康治

広報部員
門馬 一美(部長)／中島 弘藏／宮崎 敬大／
新村 明夫／山口浩一郎／西山 一美／
多田 秀生／岡田 浩／大橋 弘佳／
塩原 秀夫／中村 恵一／小野寺 茂

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆あなたの街の青少年指導員◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第27期(令和2、3年度)

◎地区会長 ○地区副会長 □地区会計

| 番号 | 氏 名 | 選出母体 | 番号 | 氏 名 | 選出母体 |
|--------------------------|-----------|---------------|----|------------|-------------------|
| 【第一地区】 | | | | | |
| 1 | ○□山 下 尚 徳 | 桜木町町内会 | 27 | ◎濱 谷 君 雄 | 久保町第五町内会 |
| 2 | 永 井 浩 次 | 西花咲町自治会 | 28 | 内 田 道 代 | 東久保町東朋会 |
| 3 | 中 島 弘 藏 | 宮崎町親和会 | 29 | 渡 辺 武 正 | 東久保町東台会 |
| 4 | ◎門 馬 一 美 | 戸部1・2・3町内会 | 30 | ○和 田 勉 | 東久保町東陸会 |
| 5 | 小 林 一 雄 | 戸部四共睦会 | 31 | 山 口 浩一郎 | 東久保町東風会 |
| 【第4地区】 【境之谷西部町内会】 | | | | | |
| 6 | 小 山 剛 | 戸部5丁目自治会 | 32 | 廣 田 剛 士 | 老松町内会 |
| 7 | 野 田 真理子 | 戸部六・七町内会 | 33 | 岡 田 浩 | 羽沢東部自治会 |
| 8 | 寺 田 俊 晴 | 石崎自治会 | 34 | ○内 藤 丈 喜 | 羽沢西部自治会 |
| 9 | 尾 形 一 成 | 天神町町内会 | 35 | 多 田 秀 生 | 西戸部二丁目第一自治会 |
| 10 | ○山 木 八十治 | 紅梅二町内会 | 36 | 西 宮 節 子 | パレスステージ横浜自治会 |
| 11 | 宮 崎 敬 大 | 御所山町会 | 37 | □中 島 祐 一 | 上原東部運営会 |
| 12 | 岡 田 公 平 | 横濱紅葉坂レジデンス自治会 | 38 | 田 中 康 祐 | 西戸部二丁目第四町内会 |
| 【第2地区】 | | | | | |
| 13 | 井 理 忠 夫 | 伊勢四自治会 | 39 | 府 川 良 正 | 東ヶ丘町内会 |
| 14 | □稻 葉 圭 一 | 扇田杉山自治会 | 40 | 大 石 優 | 東ヶ丘西部町内会 |
| 15 | ◎藤 江 一 夫 | 中央一丁目親和会 | 41 | ◎尾 野 吉 春 | 霞ヶ丘丘友会 |
| 16 | 河 内 文 敏 | 杉山町四丁目町内会 | 42 | 小 園 利 生 | 境之谷東部自治会 |
| 17 | 新 村 明 夫 | 西前町四丁目自治会 | 43 | ○佐 藤 進 | 境之谷西部町内会 |
| 【第3地区】 | | | | | |
| 19 | ○清 水 稔 二 | 藤棚町1丁目自治会 | 44 | 菅 野 淳 平 | 高島自治会 |
| 20 | 天 笠 米 蔵 | 浜松町東部自治会 | 45 | 小 石 ひろみ | 平沼昭和親交会 |
| 21 | 五十嶺 進 | 藤棚町二丁目西部自治会 | 46 | 桐 生 敏 夫 | 平沼東一丁目自治会 |
| 22 | 西 山 一 美 | 県営藤棚アパート自治会 | 47 | 野 村 直 美 | ひらに自治会 |
| 23 | 沼 田 武 寿 | 元久保町自治会 | 48 | ○久保寺 克 宗 | 平沼平疊自治会 |
| 24 | 下屋敷 明 美 | 久保町第一親和会 | 49 | □佐 藤 文 彦 | 平沼寿伍録自治会 |
| 25 | □田 中 信 正 | 久保町第三自治会 | 50 | ◎米 田 和 代 | 西平沼町宮元会 |
| 26 | 関 根 信 雄 | 久保町第四自治会 | 51 | 大 橋 弘 佳 | 岡野二丁目町内会 |
| 【第五地区】 | | | | | |
| | | | 52 | 中 村 真 治 | 岡野互助会 |
| | | | 53 | 原 弘 泰 | 南幸自治会 |
| 【第六地区】 | | | | | |
| | | | 54 | 塩 原 秀 夫 | 北幸自治会 |
| | | | 55 | ○石 井 久 美 子 | ヨコハマタワーリングスクエア自治会 |
| | | | 56 | 西 下 晃 二 | 岡野健和会 |

■編集後記■

広報部長 门馬 一美

今号では、第六地区青少年指導員で、口笛の演奏の特技をお持ちの小国 徹さんを紹介させていただきました。私も、3年ほど前に新横浜のホテルで、実演をお聴きしましたが、それは素晴らしい感動したことを覚えています。これからも益々のご活躍を祈念いたします。また、昨年10月に開催した研修会では、こちらも第六地区的濱谷さんの講演も非常に心に残りました。この大変に困難な時期ではありますが、西区青少年指導員は、地域の青少年、子どもたちのために力を合わせて活動してまいります。なお、新型コロナウイルスの影響で、第36号の発行が遅れてしまいました。お詫びいたします。

<第27期 広報部員>

| | | |
|------|-------|-------|
| 広報部長 | 門馬 一美 | |
| 第一地区 | 中島 弘藏 | 宮崎 敬大 |
| 第二地区 | 新村 明夫 | |
| 第三地区 | 山口浩一郎 | 西山 一美 |
| 第四地区 | 多田 秀生 | 岡田 浩 |
| 第五地区 | 大橋 弘佳 | 塩原 秀夫 |
| 第六地区 | 中村 恵一 | 小野寺 茂 |